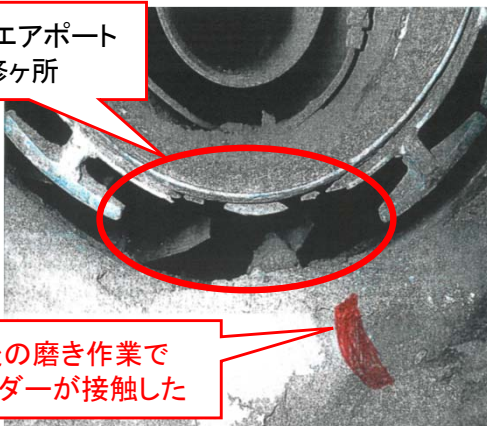


バーナー補修時にボイラーチューブを傷つけていたため 水張時に水が漏れた**【発生状況】**

バーナーのアフターエアポート内部装置の補修を行った際、グラインダーでの磨き作業においてボイラーチューブに傷をつけていた。
これが報告されないまま ボイラー水張りが行われ、損傷箇所から水漏れが発生した。

アフターエアポート
補修ヶ所補修後の磨き作業で
グラインダーが接触した

損傷状況



水漏れ状況

**【原因・問題点】**

- ①バーナーの補修作業であったため 耐圧部近傍の作業という認識がなく、ボイラーチューブへの配慮が不足していた。
- ②ボイラーチューブに傷つけたことが報告されなかった。

【対策】

- ①作業箇所周辺に損傷させてはいけないものがないか確認し、必要があれば損傷防止の措置を行う。(耐圧部近傍においては特にプロテクターの使用等損傷防止を確実に実施する)
- ②作業中に機器・設備を損傷させた場合は 直ちに報告する。